

— 山 梨 県 —

甲 州 市

観 光 パ ン フ レ ッ ト



CROSSING



KOZUSHU
CITY



甲州旅には、
ドラマがある。

いくえ

何重もの交差が、 ドラマを生む。

「よくぞ来てくれました」

そんなおもてなしの心に触れて、

旅の魅力を五感で感じる。

様々な人の想いが交差しドラマを生む地。

甲州市の魅力を守り抜いてきた、この地に住む人々。

きっとあなたも魅了される。

さあ、甲州市へ会いに行こう。





Story 1

この地に息づく、 ドラマがある。

「甲斐の虎」と呼ばれた戦国の名将、武田信玄が眠るこの地。天下を手に入れようと夢見た武田家が終焉を迎えた甲州には、彼らが残した足跡がある。戦火にもまれ攻防を繰り返す日々、何があっても揺るがない信仰は、心の拠り所となったのだろう。信玄は勇猛な武人であると同時に、禅や漢詩に通じる文人でもあった。信玄生誕500年を経た今でも当時の面影を残す場所がそこかしこにある甲州市。静寂の中、一步一步足を進めると、歴史の息吹が聞こえてくる。





武田家繁栄と衰退の記憶を歩く

信玄の菩提寺である恵林寺、勝頼が弔われている景德院をはじめ、甲州には武田家ゆかりの寺社仏閣が数多く存在する。また、歴史深く国宝にも指定されている大善寺は「ぶどう寺」の異名で知られており、手にぶどうを持った薬師如来像を見ることができる。歴史を巡るウォーキングコースや地元のボランティアガイドによる案内もあり、より深く歴史を知ることができる。

NPO法人甲州市観光ボランティアガイドの会(甘草屋敷内)
TEL:0553-33-5910



大善寺



雲峰寺



歴史博物館 信玄公宝物館



疾如風 不动如山 如林 侵



武田家の至宝と信玄の隠し湯

武田ゆかりの寺社仏閣には、数多くの宝が納められており、代々家督の印である「楯無鏡-たてなしのよらい(菅田天神社)」や風林火山の文字が刻まれている「孫子の旗(雲峰寺・恵林寺)」など、武田が駆け抜けた時代を想像させる。また、信玄は温泉との結びつきも深く、山梨には戦の傷を癒したとされる「隠し湯」が存在する。



色鮮やかによみがえる武者行列

信玄亡き後家督を継いだ勝頼。大和エリアで催される甲州市ふるさと武田勝頼公まつりでは、出陣絵巻さながらの勝頼公軍団武者行列を見ることができる。勝頼の菩提寺である景德院では、勝頼が、陣中、最期を迎えるにあたって息子信勝の元服の儀式を行ったと伝えられている。



Story 2

感情の先に、 ドラマがある。

ずっと先まで続く広い空と山が織りなすグラデーションを背景に坂道を下る。ぶどう畑に吹く爽やかな風に背中を押され、今ならどんなこともできそうだ。新鮮なおい、触れたことのない手触り。知っていたようで、まだまだ知らないことばかり。向こうの丘にはどんなことが待っているのだろう。次々に湧きあがる好奇心がペダルを踏みださせる。思いっきり身体を動かして遊ぶ、休む、学ぶ、探す、つくる、味わう、語り合う…とっておきの体験が甲州であなたを待っている。きっとこの出会いは私の糧になる。



ぐるりん ぐるりん甲州旅



電動アシスト付きで坂道も楽々なレンタサイクル「ぐるりん」で、バスや電車で行きづらい場所にも自由に足を運ぶことができる。塩山駅・勝沼ぶどう郷駅・甲州市役所勝沼支所にサイクルステーションがあるので、借りるのも返すのも簡単。





「自分と向き合う」という体験

耳の下に肩を、鼻の下に胸を。姿勢を正すと、心までもびしっと正され、感覚が研ぎ澄まされる。市内の寺院では、誰でも基本から座禅を教わることができる。



雄大な景色を歩く

新緑や紅葉に癒され、楽しみながらの山歩きや、フットパスで体と心をリフレッシュ。地区ごとに個性豊かなまちなみ景観と温かな交流があなたを待っている。



思わず笑みがこぼれる 幸せの味

秋のぶどうだけでなく、ももやさくらんぼなどのフルーツ狩りを季節ごとに楽しめる。自分の手でもいだ果実をその場で味わう幸せな体験を。

旬のフルーツカレンダーはp11へ。



三世代楽しめる レジャー

大人も子どももおじいちゃんも、一緒に川釣りやバーベキュー、キャンプなど自然の中で遊べる施設がたくさん。

自分の手で つくりあげる思い出を

ここでしかできない体験で思い出をお持ち帰り。ころ柿づくり体験をはじめ、子どもも大人も楽しめる様々な体験で、手作りのこだわりと達成感を味わって。



Story 3

あなたに寄り添う、 ドラマがある。

日々の喧騒から離れて、大自然に飛び込む。耳を澄ませば自然に生きるものたちの声が聞こえてくる。私たちもその一部。壮大な空、澄んだ空気、険しくも美しい自然は、それを守る人々の手によって今につながれてきた。歩くことで道は残り、整えることによって森は育つ。私たちは、この地を愛し、生きてきた人々の足跡の上を歩いている。ふと空を見上げると、吸い込まれそうなほどたくさんの星が広がっている。「また来るよ」とつぶやくと星が瞬いて返事をしてくれた。自然はいつでも私たちに寄り添っている。



大菩薩嶺・竜門峡 大自然を歩く

標高2,057mの大菩薩嶺は、日本百名山の一つ。見晴らしの良いならかな斜面は初心者にも人気。山の南を流れる日川渓谷に沿って約2kmの遊歩道が続く竜門峡があり、迫力満点の自然美を感じることができる。



日本遺産Story

星降る中部高地の縄文世界

日本の真ん中、八ヶ岳を中心とした中部高地には、他では見られない縄文時代の黒曜石鉱山がある。鉱山の森には縄文人が掘り出したキラキラ耀く黒曜石のカケラが一面に散らばり、星降る里として言い伝えられてきた。釈迦堂遺跡博物館では、麓の村で作られた人や動物を描いた土器や土偶を見ることができ、縄文人の高い芸術性や、生活文化をうかがえる。



紡がれる暮らし、 守りつなぐひと

甲州市塩山から北に向かうと、上条集落が現れる。江戸時代から人々の暮らしの歴史を今に伝える。この地域を次世代へとつないでいこうと、有志によって収穫祭や見学会が開催されている。古民家宿では1日1組限定で宿泊もできる。



ここにしかない絶景

甲府盆地を見下ろす壮大な山並みと一面に広がる果樹畑…。数ある絶景ポイントでは、昼間から夕焼け、夜景まで楽しむことができる。また、柳沢峠や塩山ふれあいの森総合公園などの富士山が綺麗に撮影できるスポットも。



知られざる 甲州の冬景色

澄んだ青空から臨む迫力満点の富士山。雪の中から顔をのぞかせるザゼンソウ。湯気の立つ温泉で芯から温まる。どれも冬しか味わえない特別な体験。甘草屋敷のこころ柿干しやひな飾りも見もの。



出会いの数だけ、 ドラマがある。

日中は観光客であふれかえるこのまちの朝は、早い。元気な挨拶と呼び声が響く広場には、もぎたての新鮮な果実たちが並ぶ。住民主導で1つのテントから始まったこの朝市も、今や多くの人でにぎわう。広がる交流の輪は、訪れた私たちを温かいふれあいで包み込んでくれる。「モノだけじゃない、思い出を提供したい」観光農園の農家さんは言う。甘酸っぱいぶどうにはしゃぐ子どもたちの声が聞こえる。この思い出は子どもが大人になっても、宝物として残るだろう。

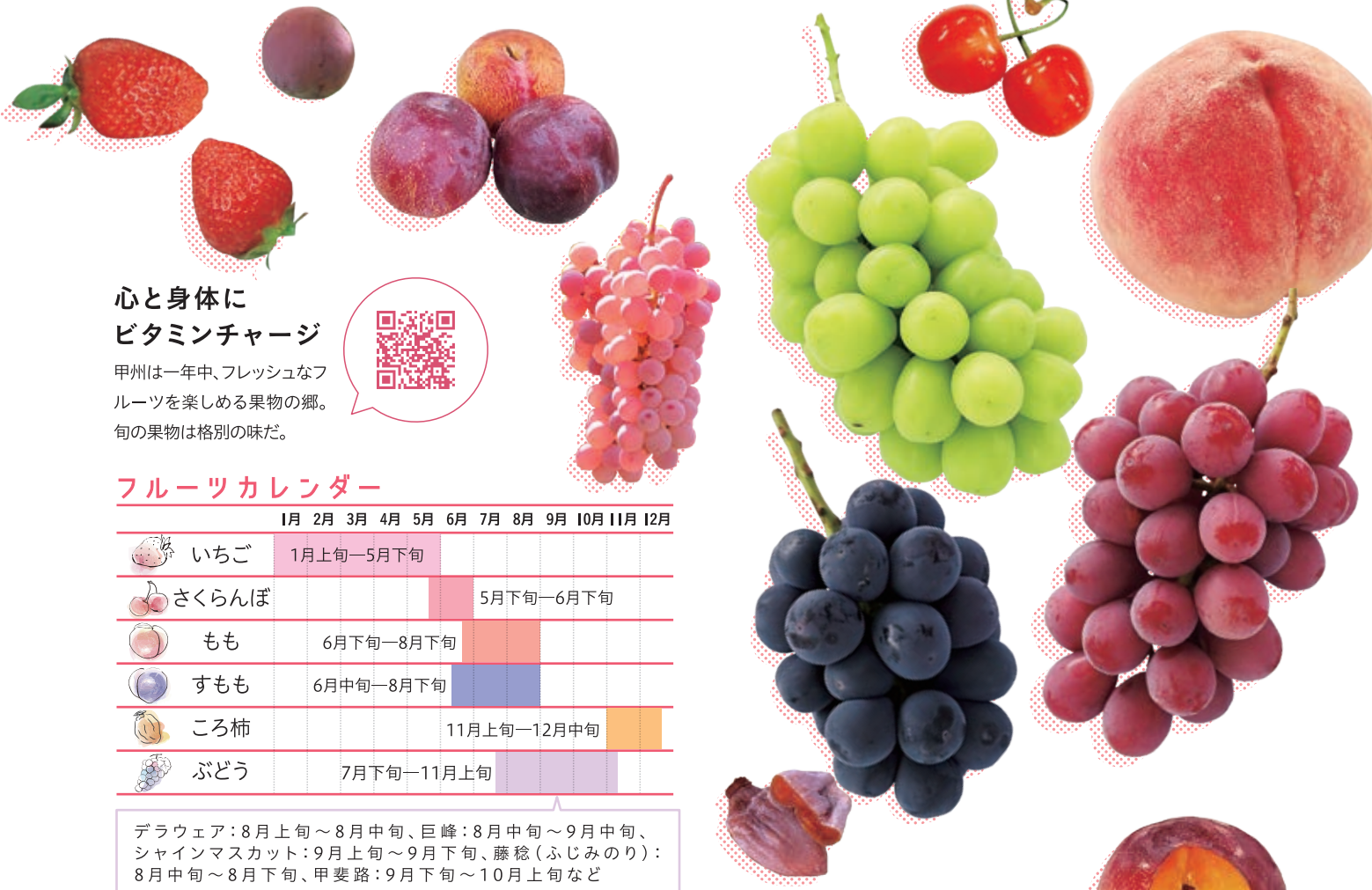


かつぬま
朝市



えんざん
朝市

毎月第一日曜、かつぬま朝市とえんざん朝市が開催。どちらもJR塩山駅から歩いていくことができる。



心と身体に ビタミンチャージ

甲州は一年中、フレッシュなフルーツを楽しめる果物の郷。旬の果物は格別の味だ。



フルーツカレンダー

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
いちご	1月上旬～5月下旬											
さくらんぼ						5月下旬～6月下旬						
もも						6月下旬～8月下旬						
すもも						6月中旬～8月下旬						
ころ柿								11月上旬～12月中旬				
ぶどう						7月下旬～11月上旬						

デラウェア：8月上旬～8月中旬、巨峰：8月中旬～9月中旬、シャインマスカット：9月上旬～9月下旬、藤稔（ふじみのり）：8月中旬～8月下旬、甲斐路：9月下旬～10月上旬など



あったかい家庭の味 「ほうとう」

山梨県の郷土料理「ほうとう」。人気店から隠れた名店までそれぞれの店にこだわりの具材や特徴が。食べ比べてあなただけのお気に入りを探してみよう。



旅の思い出をお持ち帰り

観光農園や直売所で旬の果物を。ワイナリーで甲州ワインを。生産者から直で購入すれば、味わいはより深くなる。道の駅などでは、定番の信玄餅や、甲州産の果汁を使用した甘味などを購入できる。



そばきり発祥の地

そばがきとして団子状で食べられていたそばを、初めて麺状に切って食べるようになったのが甲州市大和町の日山栖雲寺と言われており、大和エリアには、数多くのそばの名店が存在する。



地域に根づく助け合い文化「無尽」

山梨県には「無尽（むじん）」という文化がある。古くは、まとまったお金が必要になったときのための仲間内の民間金融制度だったと言われている。無尽はそれぞれのスタイルへと変化しながら、現在はよく集まる者同士でお金を積み立てたりすることや、定期的にお酒や料理を楽しむ場として残っている。



Story 5

想いが時を越える、 ドラマがある。

育まれた大地を踏みしめてひと口。豊かな香りと余韻に包まれる。1,300年前、シルクロードから日本に伝わった甲州ぶどうは、江戸時代に竹を使った「甲州式栽培」によって日本一の生産量を誇る品種となった。明治に傾斜地にも適応するぶどう棚が考案されると、甲州では葉の陰から色づいた房が覗く美しい眺望が見られるようになる。「この日本で、甲州で、なんとかワインを作りたい」、そう奮闘してきた先人たちの知恵と工夫により、甲州は日本を代表するワイン生産地であり続け、訪れた人々に至高の時を届けている。



私たちが魅了するぶどう畑

一年を通し、ぶどう畑での手仕事は終わらない。手間暇かけたぶどうがワインとなって私たちに美味しさを届けてくれる。夏には青々と覆い茂るぶどう畑は、秋になると品種ごとに赤と黄に色づきパッチワークのような不思議な風景を見せてくれる。



ワインづくりのストーリーを学ぶ

宮光園やぶどうの国文化館では、甲州におけるワインづくりとぶどうの変遷を子どもにも分かりやすく面白く学ぶことができる。



ストーリーを辿り味わう旅のワインは格別の味

日本におけるぶどう栽培とワイン醸造の発祥地である勝沼を中心に、市内各所にワイナリーが。ワイナリーによって楽しみ方もそれぞれ。あなたのとおきを見つかるワイナリー巡りはいかがだろうか。



日本遺産Story

受け継ぐべき想いがそこにある。

甲州のワイン文化は、「日本ワイン140年史～国産ブドウで醸造する和文化的結晶～」「葡萄畑が織りなす風景」として2つの日本遺産に登録されている。甲州市勝沼は、日本ワイン発祥の地。夢を抱く2人の青年が始めた日本ワインの歴史は今もなお140年の時を紡いでいる。ぶどう畑がワイナリーと共存する風景は、甲州ならではの佇まいを形作っている。



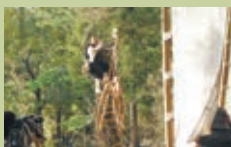
KOSHU CITY MAP



EVENT

- 春**
- 4月
 - 放光寺 大黒天祭り
 - 甲州市ふるさと 武田勝頼公まつり
 - 介山祭
 - 向嶽寺秋葉さん祭り
 - 恵林寺 信玄公忌

- 5月
 - 大善寺 藤切り祭り
 - 大菩薩トレッキング(春編)



藤切り祭り

- 夏**
- 6月
 - 菅田天神社 禊祭り
 - 8月
 - 峡東ワインリゾート フルーツライド



禊祭り

- 秋**
- 10月
 - 甲州市かつぬまぶどうまつり
 - 大菩薩トレッキング(秋編)
 - およっちょい祭り

- 11月
 - 勝沼ぶどうの丘新酒まつり
 - 甲斐大和そば処食べ比べまつり



甲州市かつぬまぶどうまつり

- 冬**
- 1月
 - 小正月行事
 - 藤木道祖神太鼓乗り
 - 田野十二神楽
 - 2月
 - ひな飾りと桃の花まつり (2月~4月まで開催)

- 3月
 - 甚六桜イベント



ひな飾りと桃の花まつり

市街地拡大図



お気軽にお越しください!

JR塩山駅観光案内所
 塩山上於曾1720番地
 ☎ 0553-33-5958
 ⌚ 4月1日～10月31日 8:30～16:30、11月1日～3月31日 9:00～16:00

JR勝沼ぶどう郷駅観光案内所
 勝沼町菱山3052番地
 ☎ 0553-44-5622
 ⌚ 9:00～16:00

道の駅甲斐大和
 大和町初鹿野2248
 ☎ 0553-48-2571
 ⌚ 9:00～18:00

旅の便利情報



甲州市
ホームページ



観光協会
ホームページ



デジタル観光
パンフレット一覧



富士の国
やまなし



多言語対応
観光パンフレット
Sightseeing
Guide
(Multilingual
Support)

Go to the website Enjoy KOSHU!

crossing KOSHU CITY

甲州旅には、ドラマがある。

令和4(2022)年3月発行

発行：山梨県 甲州市役所 観光商工課
〒404-8501
甲州市塩山上於曾1085番地1

T E L : 0553-32-2111(代)

U R L : <https://www.city.koshu.yamanashi.jp/>

制作：株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所

